

海陽町在住外国人向けの防災ワークショップを開催

海陽町に住んでいる外国人の皆さん、
一緒に防災について学びましょう

<日時>2022年7月31日(日)13時から16時まで

<会場>海陽町役場海南庁舎

国際協力機構四国センター(JICA 四国)と特定非営利活動法人えひめグローバルネットワークは、海陽町在住外国人を対象に防災ワークショップを開催します。先月から徳島県立海部高等学校防災クラブ(約15名)とNPO法人あったかいようにご協力いただき、海陽町に住む外国人に必要な防災ワークショップの内容を検討してきました。今回約10名の在住外国人に参加してもらい、下記内容のワークショップを開催します。多文化共生型の防災ワークショップをぜひ取材してください。

内容:別添チラシ参照

1. ゲーム:参加外国人と海部高校防災クラブメンバーが仲良くなるためにゲームを実施します。
2. 海陽町の自然災害:さんすい防災研究所代表山崎水紀夫氏が海陽町の自然災害を説明します。
3. 逃げ方:海部高校防災クラブが、スーパーで買い物中に地震が起こった際の逃げ方を説明します。
4. 避難所:海部高校防災クラブが、避難所の仕組みを説明し、参加外国人と一緒にテントや段ボールベットを組み立てます。

このプログラムは、JICAのNGO等提案型プログラム「多文化共生型の減災社会づくり実践研修」の一環です。同研修では、四国4県の外国人が多い自治体と連携し外国人向けの防災ワークショップを実施します。2021年6月に同研修が始まり、4自治体と準備を進めてきていますが、初めての在住外国人向けワークショップの開催になります。

海陽町の在住外国人数は190名で、人口の約2.15%が外国人です。また南海トラフを震源とする地震による津波被害に注意が必要な地です。海部高校防災クラブメンバーと在住外国人が災害時の逃げ方や避難所について学び、両者が共に高齢化が進む同町の災害時に共助の存在になれることを期待しています。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 担当:山科

TEL:087-821-8825 / E-mail:Yamashina.Emi2@jica.go.jp